

ボツワナ共和国月報(2024年7月)

主な出来事

【内政】

- BDP予備選
- 選挙人登録数が過去最高を記録
- カーマ前大統領の実弟、エスワティニが観光コンサルタントに任用か
- 英国労働党がBCPに資金援助
- 第12議会最後の通常会期が開会

【外政】

- マシシ大統領、ナミビアを訪問
- マシシ大統領、モザンビークを訪問
- クワペ外務大臣、第45回アフリカ連合理事会に出席
- ファティマ国連事務次長、ボツワナを訪問(第3回国連LLDC会議のボツワナ開催)
- プラット・バハマ総督、ボツワナを訪問

【経済】

- 世銀、ボツワナの再生エネルギー部門への融資を承認
- IMF第4条協議結果の公表-2024年の経済は減速-
- 6月インフレ率は2.8%-前月より0.2%下落-
- 5月の国際商品貿易統計-9か月連続の貿易赤字-
- 観光統計(2023年)-外国訪問者数-
- ボツワナ赤十字社の干ばつ支援策
- 干ばつによる子供への影響(ユニセフ報告書)
- 第1回大阪関西万博関係者会合

【内政】

○BDP予備選

3日、ボツワナ民主党(BDP)は予備選を20日、21日に実施すると発表したが、16日、選挙管理員の投票機会の確保を理由に、選挙区を2つに分け、それぞれ実施日程を20日と27日とする異例の対応をした。

20日の投票では、選挙人名簿や投票用紙が投票所に届かず、投票開始の大幅な遅延(翌21日の実施を含む。)等の混乱が見られた。開票は21日に実施され、投票が続く中、並行して開票が行われた選挙区もあった。

注目のグッドホープ・マテテ選挙区では、現職のディコロティ保健大臣がセラメ財務大臣(特別選出議員)に約1,700票差を付けて勝利、ハメラテ選挙区のモアヒ鉱物大臣は落選、ハボローネ中央選挙区ではヒーリー議員が落選、一方、ンマディナレ選挙区では、ムズウィニラ国土・水大臣(特別選出議員)が現職のモレバツィ議員を破り当選した。

また、21日の開票では、開票作業を取材しようとした報道陣を、選挙管理員が実力排除する場面がSNSに投稿され、BDPIは即日報道発表で謝罪した。

27日の投票では、20日の様な選挙実施に関する混乱は見られず、シャムクニ司法大臣が敗れ、2名の副大臣が敗れた他は大きな波乱はなかった。

○ 選挙人登録数が過去最高を記録

独立選挙委員会(IEC)は、1,037,684人が選挙人登録を実施し、これはIECが設定した登録者目標130万人の80%以上に上る、と発表した。登録者の約55%が女性有権者となっている。

○ カーマ前大統領の実弟、エスワティニが観光コンサルタントに任用か

報道によると、エスワティニは、カーマ前大統領の実弟で、自身も南アに逃亡中のチセケディ・カーマ元環境・保全・天然資源・観光大臣を、観光コンサルタントに任用するようだ。エスワティニ観光局は、同氏の経験を評価し、コンサルタント契約を締結するようだが、野党「人民の民主主義運動のための結束(PUDEMO)」はカーマー族とエスワティニ王家との近い関係を批判している。

○ 英国労働党がBCPに資金援助

ボツワナ議会党(BCP)は英国ウェストミンスター財団の民主主義基金を通じ、英国労働党から引き続き資金提供を受けていることを確認した。英国では、労働党が4日の下院総選挙で過半数を獲得し、政権与党に復帰、スターマー新政権が発足した。

○ 第12議会最後の通常会期が開会

6月27日、政府は7月23日から8月30日頃の日程で通常会期を開会すると発表した。当初は7月17日から開会予定であったが、何らかの事情で会期が短縮された。会期中、不動産証書登録法、国民議会議員等の給与法、鉱山・鉱物関連法の修正法案等5つの法案の審議が予定されている。

【外政】

○ マシシ大統領、ナミビアを訪問

2日～5日、マシシ大統領は、ムブンバ・ナミビア大統領の招待により、スワコプムント国際貿易博覧会(SWaiTEX: Swakopmund International Trade Expo)に出席するため、ナミビアを訪問した。マシシ大統領は主賓として同博覧会で基調講演を行った他、ムブンバ大統領と首脳会談を実施し、農業、交通、電気通信、安全保障等に関する議論を行った。ツォフワネ副大統領を含む複数の閣僚が同行した。

○ マシシ大統領、モザンビークを訪問

10日～12日、マシシ大統領は、ニュシ・モザンビーク大統領の招待により、モザンビークを訪問し、6日～8日までマプトで開催されたボツワナ・モザンビーク合同協力常設委員会(JPCC)第8回会合の成果を受け、道路インフラ、農業、畜産、食糧安全保障、治安・公共秩序の分野における協力に関する覚書と協定の署名式に参加した。また、マシシ大統領はモザンビーク大統領との首脳会談を行った他、ボツワナ、モザンビーク、及びジンバブエの三カ国首脳会議にて三カ国を繋ぐテコバニネ港統合プロジェクトとリンポポ鉄道に関し討議した。クワペ外務大臣を含む複数の閣僚が同行した。

○ クワペ外務大臣、第45回アフリカ連合理事会に出席

18～19日、クワペ外務大臣は、ガーナのアクラで開催された第45回アフリカ連合(AU)理事会通常会合に出席した。同会合では、多国間協力、観光などを含む一連の報告が審議された他、AU平和基金及びアフリカ包括市場中核センターの運用開始に向けた準備状況の報告、アフリカ人権裁判所判事、アフリカ宇宙理事会理事、アフリカ連合汚職対策諮問委員会委員の選挙と任命が行われた。

○ ファティマ国連事務次長、ボツワナを訪問(第3回国連LLDC会議のボツワナ開催)

2日、ファティマ国連事務次長(後発開発途上国・内陸国・小島嶼開発途上国担当)がボツワナを訪問し、マシシ大統領とクワペ大臣を表敬訪問した。同事務次長は、本年12月にハボローネで開催される第3回国連内陸開発途上国(LLDCs: Landlocked Developing Countries)会議の計画ミッションでボツワナを訪れた。当初予定されたルワンダでの開催が困難となったため、LLDC議長国であるボツワナがホストすることになった。これにより、ボツワナはアフリカ初の同会議開催国となる。

○ プラット・バハマ総督、ボツワナを訪問

29日～8月2日、プラット・バハマ総督は、マシシ大統領の招待を受け、ボツワナを国賓として訪問した。今回の訪問は、既存の二国間関係を更に強化するとともに、観光、金融、貿易、投資などの分野における協力強化の可能性を探ることを目的としており、同総督はマシシ大統領の会談の他、ボツワナ・ダイヤモンド・トレーディング・センター(DTCB)を訪問した。

【経済】

○ 世銀、ボツワナの再生エネルギー部門への融資を承認

11日、世銀は、ボツワナの再生可能エネルギー支援・アクセス促進(RESA)プロジェクトに対し約122百万米ドルの融資を承認した。内訳は、世銀グループ内の国際復興開発銀行(IBRD)からの融資が88百万米ドル、緑の気候基金からの融資が30百万米ドル、

同基金からの無償資金協力が4百万ドル。資金は、国営ボツワナ電力公社(BPC)等を通じ、変動型再生可能エネルギー導入のためのグリッド(送配電網)の改良、農村部への送電網拡張やキャパビルなどに充てられる。

○ IMF第4条協議結果の公表-2024年の経済は減速-

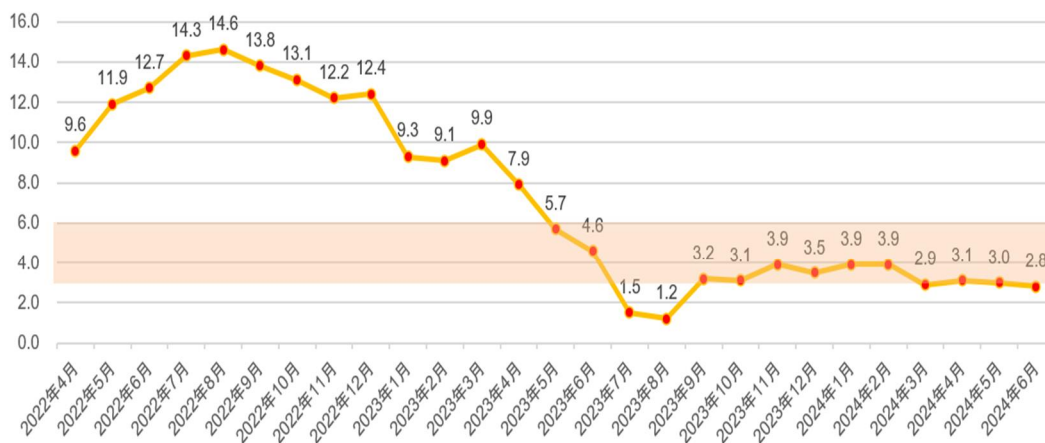
今年(2024年)のボツワナ経済成長は、主にダイヤモンド市場の縮小によりプラス1%と減速を見込み、経常収支は赤字拡大を見込む。インフレ率は、2022年半ばのピークから急激に低下し、ボツワナ中央銀行の目標範囲(3~6%)に収斂。2024年度財政赤字は、GDPの6%へとより拡大すると予想。

総評として、成長と雇用創出のため、民間セクター開発、輸出多様化、公共部門の効率化が必要であり、国有企業改革、ビジネス・インフラ整備(インターネット、エネルギー、物流)、貿易円滑化対策などを優先課題として指摘。

○ 6月インフレ率は2.8%-前月より0.2%下落-

6月の年間インフレ率(前年同月比)は2.8%となり、前月のインフレ率(同)の3.0%から0.2%下落した。分野別寄与度は、上位から雑貨・サービス(0.8%)、運輸(0.6%)、食品・非アルコール飲料(0.6%)であった。

(図: 最近のインフレ率の推移)



注: ボツワナ銀行中長期インフレ目標 (3%から6%)

○ 5月の国際商品貿易統計-9か月連続の貿易赤字-

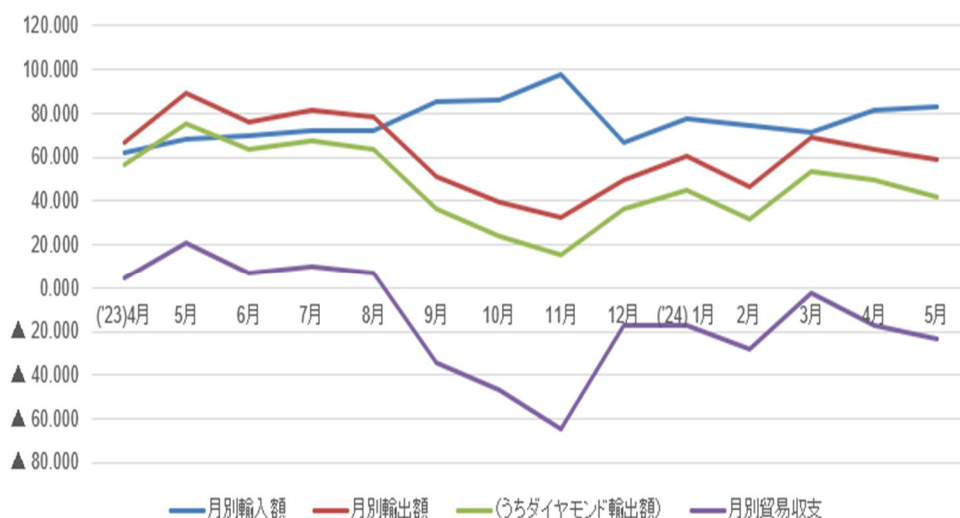
5月の輸入総額は 82.670 億プラとなり、前月の 81.181 億プラ(改定値)から 1.8%の増加、一方で輸出総額は、59.096 億プラとなり、前月の 63.682 億プラ(改定値)から 7.2%減少した(図)。この結果、同月の貿易収支は 23.574 億プラの赤字となり、2023年9月以降9か月連続の貿易赤字となった(同)。

(図：月別貿易収支の推移：2023年4月から2024年5月)

	(23)4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(24)1月	2月	3月	4月	5月
月別輸入額	62,159	68,419	69,480	71,743	71,990	84,923	85,977	97,378	66,846	77,431	74,509	71,455	81,181	82,670
月別輸出額	66,363	89,226	75,967	81,702	78,498	50,964	39,140	32,428	49,458	60,419	46,539	68,622	63,682	59,096
(うちダイヤモンド輸出額)	56,203	75,312	63,680	67,778	63,615	35,999	23,870	15,282	36,332	44,757	31,835	53,354	49,240	41,694
月別貿易収支	4,204	20,803	6,487	9,959	6,508	▲33,959	▲46,838	▲64,952	▲17,405	▲17,012	▲27,969	▲2,833	▲17,499	▲23,574

注)2024年5月は速報値

(出典：ボツワナ統計局4月期貿易統計)



(参考) 分野別内訳：上位5分野 (%)

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	ダイヤモンド 23.8	燃料 16.8	飲食品等 14.8	機械・電機 13.9	化学・ゴム製品 8.7
輸出	ダイヤモンド 70.6	銅 16.5	機械・電機 4.0	塩・ソーダ灰 1.8	肉・肉製品 1.0

(参考) 国別内訳：上位5か国 (%)

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	南ア 63.7	ナミビア 13.4	シンガポール 3.7	カナダ 3.2	中国 2.4
輸出	UAE 34.5	インド 14.8	ベルギー 11.8	豪州 9.3	南ア 8.9

○ 観光統計(2023年)-外国訪問者数-

2023年通期の外国からの訪問者数は1,183,432人であった。このうちアフリカ域内からの訪問者数が全体の78.3%(926,400人)を占めた。入国経路はカズングラ橋国境が最も多く、全体の12%(142,042人)を占めている。アフリカ地域及び域外のそれぞれトップ5の国は図1及び図2を参照。

図1: アフリカ域内トップ5

国名	人数
南ア	394,909
ジンバブエ	263,697
ザンビア	128,346
ナミビア	92,138
レソト	12,274

図2: 域外トップ5プラス日本

国名	人数
米国	62,386
ドイツ	40,856
英国	25,357
フランス	14,673
豪州	12,298
日本	2,747

※日本は全体で26位(域外で16位)

○ ボツワナ赤十字社の干ばつ支援策

ボツワナ赤十字社は、同社は災害救援緊急基金(DREF)を通じて、当地の干ばつ被害を緩和するために、72,000人に対して720万プラを支援する。本年6月のマシシ大統領による干ばつ宣言を受け、ボツワナ南西部のフクンツィ、マブツァネ、ボツワナ北部のノースイースト地区の地域住民・農家を支援し、生計向上、5歳未満児の栄養改善、食料安全保障、水・衛生対策への対応に重点を置く。

○ 干ばつによる子供への影響(ユニセフ報告書)

ユニセフが発表した報告書によると、南部アフリカ地域では、エルニーニョ現象が引き起こした洪水と干ばつの影響により、30万人の子供が重度の急性栄養失調不良に直面している。ボツワナでは、約84万人の子供が被害を受けているとされ、そのうち、1万2千人の5歳未満の子供は、重度の栄養失調であると報告された。子供の低体重は、食料生産の減少と食料価格の高騰による。ユニセフは、支援を必要とする子供に対し、最長6カ月間の食料援助を行う場合、ボツワナだけでも最大100万米ドルの資金援助が必要であると推測している。

○ 第1回大阪関西万博関係者会合

23日、ハボローネ市内にてボツワナ貿易投資センター(BICT)主催の第1回大阪関西万国博覧会関係者会合が開催された。BITCによると、パビリオンは間もなく主催者側からボツワナ側へ引渡しが行われる見込み。

(了)